

# 安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが ⑬

2020年9月9日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション 連絡先 メール [info@kaikenno.com](mailto:info@kaikenno.com) ☎03-3221-4668

## 声をあげ続け、とうとう安倍首相辞任表明！ 署名・運動、世論で安倍9条改憲を阻止した！ しかし安倍路線の継承競い合いの自民党総裁選 「安倍なき安倍改憲」許すな！

- 宣伝・対話・「改憲反対署名」で、さらなる「安倍改憲」、「敵基地攻撃能力保有」の明文、解釈両面の攻撃に大反撃を！！
- 政治転換のチャンス、総選挙で安倍政治に決着を

安倍首相は8月28日の記者会見で、健康問題を理由に辞意を表明、それを受けて菅官房長官ら3人が候補者となって自民党総裁選挙が行われています。9月16日には臨時国会が開かれ、新しい総理大臣が指名されることになっています。

辞意表明の記者会見で安倍首相は、やり残した課題として「憲法改正」を拉致問題、ロシアとの平和条約とともにあげ、「志半ばで職を去ることは断腸の思い」だが、「自民党として国民の皆様にお約束した政策であり、新たな強力な体制の下、実現に向けて進んでいくものと確信しております」と次期内閣に引き継ぐことを宣言しました。

会見ではまた、「一昨日の国家安全保障会議では、現下の厳しい安全保障環境を踏まえ、ミサイル阻止に関する安全保障の新たな方針を協議いたしました。今後速やかに与党調整に入り、その具体化を進めます。」と述べ、「ミサイル防衛」をコロナ対策と並べて「一時の空白も許されない」ことの一つとして強調しました。その後、在任中に再び安全保障会議（NSC）を開き、新たな安全保障戦略、敵基地攻撃能力保有を含めた結論を年内に出し、来年度予算にも反映することなどの方向性を示す「談話」を発表するとしています。

これを受けた総裁候補者たちは、安倍首相と共に立憲主義を壊し、9条改憲を推進し、基地の押しつけを謀ってきたその時々の閣僚として、党の役員として果たした自らの共同の責任には一切口をつぐみ、一方で「安倍路線の継承」の大合唱・競い合いを演じています。とくに菅官房長官は「安倍政治の継承・発展」だけを「売り」にしており、「この人大丈夫？」の声ですでに上がり始めている始末です。

**宣伝・対話・署名の推進で「安倍なき安倍改憲」、「敵基地攻撃能力保有」論を打ち破ろう！総選挙で決着をつけよう！**

「安倍なき安倍政治」ともいうべきこの事態に決着をつけ、政治を転換し、「安倍なき安倍改憲」、敵基地攻撃能力の保有という明文・解釈両面にわたる改憲策動に反撃し、葬り去らなければなりません。

宣伝・対話、「安倍9条改憲NO！改憲発議に反対する全国緊急署名」などで大きく運動を展開しましょう。新政権の「安倍ぶり」が市民の間に明らかにならないうちに総選挙が行われるかもしれません。来るべき総選挙めざし、今こそ市民と野党の共同を広げに広げ、安倍政治・安倍改憲に決着をつけようではありませんか。

## 各地の取り組みから

### 東京 安倍辞任表明後初の街頭宣伝に 53人 ウィメンズアクション

総がかり行動実行委員会・ウィメンズアクションは9月1日、有楽町・イトシア前で安倍9条改憲NO！ウィメンズアクションを行いました。安倍首相が辞任を表明してから総がかり行動実行委員会としては初めての街頭宣伝となりました。市民のリレートークでは、安倍首相が掲げ続けた9条改憲を、世論と運動の前に阻止できたことを確信にしようと呼びかけました。また、安倍首相の記者会見では反省が全くなく、改憲に未練を残し、敵基地攻撃の新たな戦略にも関わることを明言したことなどを批判し、市民と野党の共闘を発展させ、憲法が生きる新しい政治をつくろうと訴えました。

山添拓日本共産党参院議員、福島みずほ社民党党首・参院議員もかけつけ、スピーチしました。

この日の宣伝行動には53人の仲間が参加し、32人の発議反対署名が寄せられました。

夫がマンマー人という都内の女性は、「夫から聞かされるマンマーの憲法や憲法改正の動き、また日本の憲法についていつも家族で話し合っている。憲法は安倍さんの手からどうしても守らないといけないと考えている。母を含めてみんなが改憲反対だ」といって署名しました。



訴える山添拓参議院議員（左）、福島瑞穂参院議員（右）（写真提供＝憲法共同センター・高島牧子さん）

### 青森 安倍政治の継承はダメ！精力的に訴え 青森市で九条の会

青森県九条の会は9月3日、青森市の駅前公園で安倍首相の辞任表明後初めての「アベ政治を許さない！」の行動に17人が参加し、リレートークやポスターを掲げて訴えました。

「戦争法（安保法制）が強行され、青森の自衛隊員が南スーダンに派遣される際、青森空港で自衛隊員の家族が涙で見送った姿を忘れない、国民を泣かせてきた政治を終わらせるために安保法制を廃止するまで声をあげ続けよう」、「総裁候補は安倍政治を引き継ぐことばかり言っている。安倍政治が終わるまで、終わらせる運動を広げよう」、「だれが首相になろうとも9条改憲は許さない」などとトークしました。

青森県九条の会は9月7日、青森市の新町商店街で宣伝し、改憲発議反対署名を呼びかけました。「だれが首相になっても戦争だけは、ぜったいにいやです」と訴えました。

通りかかった市民は、署名のペンを走らせながら次つぎ語ります。「私たちは首相を選べないがこうして署名はできる。一つでも役に立つことがしたい」、「やっと安倍さんがやめることになったけど、次の人が安倍さんの政治を継ぐ人なら何も変わらない。早く総選挙をしたほうがいい」、「父親を戦争でなくした。誰が首相になっても、憲法9条は変えちゃダメ」、「憲法をかえたい自民党の政治が続くなら政治が変わるとは思えない」、「アメリカベッタりの外交もいい加減におしまいにしたい」、「自民党は説明しないまま決めようとする。自民党がいう改憲に賛成したら世も末だ、日本は終わりになる」…

### 宮城 安倍なき安倍政治、安倍改憲の危険を告発 講演会で商店街で

宮城県内九条の会連絡会は9月5日、総会と学習講演会を開催しました。総会に先立つ学習講演会では、一橋大学名誉教授・九条の会事務局の渡辺治さんが「「コロナをのりこえ、時代をひらく～今こそ憲法を～」と題して講演。150人が参加しました。

渡辺さんは、「安倍政治とは、長年にわたるアメリカ追従の軍事大国化、大企業本位の政治の完成がその本質であり、ポスト安倍がねらっているのは改憲と新自由主義のさらな

る推進」と解明し、危険性を指摘しました。「市民と野党の共闘が衆参で改憲勢力が多数でも改憲を阻んできた、その力を土台に、野党の連合政権構想を掲げ、安倍政治に終止符を打ち、憲法が生きる政治を私たちでつくりたい」と訴えました。

同連絡会の相原研一運営委員長は「9条を守っていく運動を改めて強め、進めよう」と呼びかけ、参加者からは「新しい政権構想は、政党任せでなく市民も力を発揮したい」などの声が出されました。

**宮城県内九条の会連絡会**は9月8日、仙台市中央通商店街・二番丁平和ビル前で宣伝・署名に取り組みました。

ハンドマイクからは交代で、「安倍首相は病気を理由に辞任を表明したが数々の疑惑の追及とコロナ対策の行き詰まりで政権を投げ出した」「後継にだれがなっても改憲を引き継ぐことになる」「世論の力で9条を守りぬこう」などと訴えました。

署名に応じた女性は、「安倍首相は国民の命やくらしを守ってくれたとはとても言えない。後を継ぐという人は安倍さんの疑惑を率先して隠してきた人でしょう。真相をすべて明らかにしないとまともな政治にならない」と怒っていました。

**安倍9条改憲NO! 政治を変える泉・富谷市民アクション**は8月30日、仙台市で「憲法が生きる政治に変えよう」と集会を開きました。

集会では、同アクションの酒井孝夫代表が「安倍首相は改憲の『夢』を後任に託した。野党連合政権で政治を変えよう」と呼びかけました。秋葉忠利前広島市長が講演しました。また全国首長九条の会の川井貞一共同代表、市民連合みやぎの多々良哲共同代表が連帯のあいさつを行いました。政党からも高橋千鶴子日本共産党衆院議員、鎌田さゆり立憲民主党県連幹事長、石垣のり子同参院議員、石川達治社会民主党仙台市議が参加し決意表明を述べました。

集会には265人が参加しました。

## 東京

## 安倍政治追撃を呼びかけ 退陣表明後の初行動 調布

**戦争はいやだ調布市民の会**は9月3日、久々の17人という大所帯で安倍首相の辞任表明後初の宣伝行動を取り組みました。突然の豪雨に見舞われ、行動は20分間で断念しましたが、安倍政治の追撃を訴え、安倍政治許さないと誓い合う行動となりました。

(下はこの日の行動で配布したチラシ)

# 安倍首相がついに辞任

アベ改憲を破綻させ辞任に追い込んだ！ 共闘の力に確信を♡

## 新型コロナウイルスの感染拡大、自然災害の増加、安全・安心軽視の長年の政治をいのちと暮らしを守る政治に転換する時が来ました。

病気による辞任だからと言ってモリ・カケ・桜の疑惑が晴れるわけでもなく、**無責任な「政権投げ出し」が許されるわけでもありません！**

### コロナ抑制、暮らし・医療の崩壊防止、疑惑と責任の徹底究明へ まず「臨時国会」を開いて審議をすべきです。

歴史修正、憲法・民主主義破壊、政治私物化、メディア支配など、「お金だけ・自分だけ・仲間だけの政治」で公衆衛生・医療・福祉を破壊し続けた安倍首相が8月28日、突然に政権を投げ出しました。固執し続けたアベ改憲は破綻し、憲法にもとづいて医療体制の充実、感染防止のための「自粛」で損なわれた暮らし・事業への「補償」、社会保障・公衆衛生の拡充に、持続的に、本気で税金を使う政治を取り戻す機会が訪れました。

膨大な軍事費や政治私物化で財政を浪費してきた安倍政権を追い詰め、辞任にまで追い込んだ市民と野党の共闘の力を確信に、疑惑は徹底的に追及し、暮らしと福祉、いのちを守る政治をつくりだしましょう。

### 憲法破壊・蹂躪の政治を決して許さず、 「市民と野党」の力で新しい政治を拓こう

戦争はいやだ調布市民の会 連絡先: sensou\_haishi@yahoo.co.jp 2020年9月

**9月19日(土)  
総がかり行動**  
憲法違反の安保法制、強行採決から満5年!

「戦争法」は違憲だ  
2015年9月19日に強行採決で平和憲法のもとに埋め込まれた「鬼っ子」の廃止を求め、毎月19日に行動。

今回の行動は議員会館前で15時開始です。調布からの参加者は14時15分に新宿駅の丸の内線改札口で待ち合わせ、ごいっしょに!

どなたでもお気軽に

(戦争はいやだ調布市民の会メールニュース「伝言板」682号9月3日付から)

**埼玉** **安倍政治の継承許さない自動車パレード** **本庄児玉共同センター**  
**本庄児玉郡地域共同センター**は9月5日、「安倍政治の継承を許さない」と訴える自動車パレードを行いました。

本庄市から上里町までの18.7kmを2時間かけ、軽トラックや乗用車10台を連ねて宣伝しました。

「来る総選挙では市民と野党の共闘で『戦争する国づくりストップ、憲法を守り生かす』政権の実現を」などと訴え、車体には「最低賃金大幅引き上げ、『休業にはしっかりした補償を』『少人数学級の実現を！』『消費税の減税』『命と暮らしを守るため臨時国会の開会を』」などのステッカー貼ってアピールしました。

**山梨** **共闘で政治を変えよう 市民連合が懇談会**

**市民連合やまなし**は9月6日、来る衆院選で市民と野党の共闘で統一候補者の擁立をめざそうと甲府市で懇談会を開きました。

立憲民主党、国民民主党、日本共産党、社会民主党の代表が参加・発言しました。市民からは「早く小選挙区の統一候補の決定を」などの意見もだされ、その場で野党間の協議日程が決められました。

**岐阜** **暴走政治の継続ストップ 3団体共同の宣伝**

**岐阜総がかり行動、秘密保護法廃止・ぎふ、岐阜・九条の会**の3団体は9月6日、岐阜市の名鉄岐阜駅前で共同の宣伝を行い、「安倍政治の継続は絶対に許さないぞ！」と声をあげました。

参加者は「戦争法廃止」「アベ政治を許さない」などのボードを持ち、マイクからも訴えました。「うそ」「横暴」「改ざん」「忖度」「税金私物化」などと書き込まれた安倍首相の等身大のパネルが掲げられ通行人の目を引きました。

**石川** **政治の転換で「9条改憲の火種」消そう 金沢**

**石川憲法会議と戦争する国づくりストップ！憲法をいかす石川県共同センター**は9月2日、炎天下の金沢市いしかわ四高記念公園脇で50人が参加して集会を行い、市内をデモ行進しました。

集会では「兵器の爆買いやめてコロナ対策に」「9条改憲の火種を完全に消すまでがんばろう」などのスピーチがあり、デモ行進では「暴政からの転換を」「疑惑の幕引き許さず、徹底解明を」「戦争アカン」などのパネルを掲げ沿道の市民に訴えました。

**富山** **「アベ政治継承やめよ」昼休みスタンディング 富山市**

**安保破棄富山県実行委員会と国民大運動富山県実行委員会**は9月1日、昼休みの富山駅前広場で17人が参加しスタンディング、「『アベ政治』の継続を許すな！」と訴えました。

**奈良** **奈良から政治を変えよう 市民連合中南和が総会**

大和高田市、橿原市、桜井市、五條市、御所市、葛城市、宇陀市、宇陀郡、高市郡、吉野郡を区域とする衆議院奈良3区に、6月17日発足した**市民連合中南和**が9月5日、橿原市で第1回総会を開きました。

総会では、共同代表の浅川肇さん（戦争を刺せない奈良1000人委員会呼びかけ人）、佐々木育子さん（弁護士・奈良総合法律事務所）、森永雅世さん（I・アイ女性会議奈良）があいさつしました。

総会では、「お互いが支持政党の違いを尊重し合って気持ちよく大同団結しよう」を合言葉に、宣伝や会員拡大、県知事へのコロナ対策の申し入れを行うことなどの方針が確認されました。

**兵庫** **安倍政治を根から絶とう 神戸で昼休みデモ**

**兵庫県憲法共同センター**などの主催で9月8日、「憲法改悪反対、戦争法廃止」などを掲げ、神戸市・三宮で昼休みパレードが取り組まれました。37人が参加しました。

パレードに先立ち東遊園地で行われた出発集会では、和田進神戸大学名誉教授が、「安倍政治を象徴するものとして立憲主義の破壊があった。集団的自衛権行使容認の閣議決定や戦争法の強行などを重ね、今は在任中に敵基地攻撃能力保有に道筋をつけることに執念を燃やしている」「安倍首相に『残念ながら国民的世論が盛り上がりず憲法改正はできなかった』と悔しがらせた。私たちの運動が安倍改憲を阻止した」「しかし、安倍流政治を継続させようとしている。市民と野党の連合で安倍政治を根底から断ち切ろう」と訴えました。

### 広島 野党が手を結び政治の転換を 広島 2 区市民連合結成

広島市佐伯区、同西区、江田島市、大竹市、廿日市市を区域とする衆議院広島 2 区で 9 月 5 日、子どもたちに未来を拓く広島 2 区市民連合の結成の集いが広島市西区で、74 人が参加して開かれました。

集いでは、立憲野党が共闘して選挙をたたかうように求めること、政策協定を結び自民党政治の転換を実現することなどの運動方針が申し合わされました。また憲法改悪反対、米軍岩国基地の騒音被害解消・低空飛行訓練中止、核兵器禁止条約への参加を政府に求める、「黒い雨」訴訟の控訴取り下げ・被爆者手帳の交付など 11 項目の政策要求が確認されました。

立候補を表明している日本共産党と立憲民主党の予定候補、5 つの野党の県代表らがいさつしました。

### 香川 「アベ政治の転換を！」 市民と野党が訴え 高松市

9 条の会かがわと香川革新懇は共催して 9 月 6 日、「6 の日行動」として政治の転換を求める宣伝行動を行いました。

市民と共に、野党代表がリレートークで、「行き詰った自公政治を命とくらしを守る政治に転換しよう」「安倍政権のもとで市民と野党の共闘も進んだ」「与党を倒すため、野党が一致団結して香川から踏み出そう」などと訴えました。参加した野党の代表は、立憲民主党・富野和憲県連代表、国民民主党・木村篤史県連幹事長、日本共産党・中谷浩一県委員長、社会民主党・高田良徳県連代表、新社会党・井角操県本部委員長の各メンバー。

## 【再掲】 好評普及中 パンフ「敵基地攻撃論批判 『専守防衛』の“見える化”を」



A5 判 40 頁、頒価 100 円（10 冊以上送料無料）

ジャーナリストの前田哲男氏が書き下ろしたパンフレット「敵基地攻撃論批判 『専守防衛』の“見える化”を」が立憲フォーラムから発行されました。好評普及中です。全国市民アクションでも扱っています。

【パンフレットの内容】

〔目次・本文〕はじめに／1. どこから来たのか？「敵基地攻撃論」議論の沿革／2. 21世紀初頭の逆転劇 法理上から政策へ／3. 敵基地攻撃：どんな兵器が選定されるか？／4. どう対抗していくか  
〔目次・資料〕弾道ミサイル防衛の迅速かつ抜本的な強化に関する提言（H29・3・30 自民党政務調査会）／イージス・アショア関連年表／『敵基地攻撃』別名称も検討 政府・与党、反発に配慮」（東京新聞電子版 2020年7月15日）

**【お申し込み】** 1部100円（10部以上は送料無料）

○立憲フォーラム（担当：福田）

Fax=03-3303-4739 Eメール=fukuda@haskap.net

○全国市民アクション

Fax=03-3221-2558 Eメール=info@kaikenno.com

※冊数、送り先（郵便番号、住所、電話番号、メールアドレス）、お名前を明記してください。